

法律専門職専攻カリキュラム・マップ(公開版)

学年	科目名	時期	【知識・理解】		【思考・判断】			【関心・意欲】	【技能・表現】		
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
			具体的目標	条文の読み方や基本的な法解釈技術など、法律学に共通する一般的・基礎的な知識を習得する。	主要な法領域の特色及びそれら法領域で扱われる制度や概念を説明できる。	法による紛争解決が求められる事案につき、法的問題点を発見し、法的三段論法により解決を図るという思考をとることができる。	③の思考をする際に、制度趣旨や基本原則に則った利益調整を行ったり、問題解決に必要な事実とそうでない事実をより分けて考えると、規範的思考を行うこと	対立する考え方を理解したうえで、自分が正当であると考える見解を説得的かつ論理的に論証することができる。	法学一般および各法領域に関心を持ち、授業に積極的に参加することができる。	基本的なアカデミックスキルを修得する。	③④⑤に記した思考の過程・結果を、文書で的確に表現し、考えの異なる他者と意見交換できる。
1	(専)基礎演習	前期	○		○			○			○
1	(専)民法・総則	前集	○		○			○	○		
1	(専)刑事手続法概論	後期	○		○			○	○		
1	(専)民事手続法概論	後期	○		○			○	○		
1	(専)民法・債権各論	後集	○		○			○	○		
1	(専)刑法総論	後集	○		○			○	○		
1	(専)憲法 I	通年	○		○			○	○		
2	(専)民法・物権	前集		○		○				○	
2	(専)商取引法A	前期		○		○				○	
2	(専)法的思考A	前期		○		○				○	
2	(専)現代外国法事情A	前期		○		○				○	
2	(専)判例演習	後期		○		○					○
2	(専)民法・債権総論	後集		○		○				○	
2	(専)商取引法B	後期		○		○				○	
2	(専)法的思考B	後期		○		○				○	
2	(専)現代外国法事情B	後期		○		○				○	
2	(専)憲法 II	通年		○		○				○	
2	(専)行政法 I	通年		○		○				○	
2	(専)刑法各論	通年		○		○				○	
2	(専)刑事訴訟法	通年		○		○				○	
2	(専)会社法	通年		○		○				○	
2	(専)民事訴訟法	通年		○		○				○	
3・4	(専)行政法 II A	前期		○			○			○	
3・4	(専)民法・親族	前期		○			○			○	
3・4	(専)金融サービス法A	前期		○			○			○	
3・4	(専)行政法 II B	後期		○			○			○	
3・4	(専)民法・相続	後期		○			○			○	
3・4	(専)金融サービス法B	後期		○			○			○	
3・4	(専)憲法応用演習	通年		○			○				○
3・4	(専)刑法応用演習	通年		○			○				○
3・4	(専)民法応用演習 I	通年		○			○				○
3・4	(専)民法応用演習 II	通年		○			○				○
3・4	(専)会社法応用演習	通年		○			○				○
3・4	(専)争点演習	通年		○			○				○